

第18回理事会議事録(要旨)

- 1 日時 令和5年1月13日(金) 自 午後1時00分
至 午後2時45分
- 1 場所 日本大学会館901会議室
- 1 出席者
- | | | |
|------|---------|-----------|
| (理事) | 林 真理子 | 酒 井 健 夫 |
| | 大 貫 進一郎 | 澤 田 康 広 |
| | 武 井 正 美 | 村 井 一 吉 |
| | 和 田 秀 樹 | 澤 野 利 章 |
| | 永 沼 淳 子 | 林 宏 行 |
| | 三 村 淳 一 | 筒 井 仁 |
| | 吉 田 誠 子 | 柳 澤 一 恵 |
| | 今 泉 祐 子 | 上 條 由 美 |
| | 木 村 順 平 | 淺 井 万 富 |
| | 伊 藤 ゆみ子 | 内 田 和 人 |
| | 鬼 頭 宏 子 | 高 戸 毅 子 |
| (監事) | 平 沢 郁 子 | 渡 辺 美 代 子 |
| | 山 本 寛 力 | 小 林 清 浩 |
| | 篠 塚 力 し | 奈 尾 光 浩 |
- 1 欠席者 な し

報 告 ・ 連 絡

- 1 第17回理事会議事録(案)報告の件
議長から、第17回理事会議事録(案)報告の件について、報告があった。
- 2 特別調査委員会による調査進捗状況について
総務部長から、報告資料2に基づき、これまでの調査費用等について、報告があった。
- 3 医学部調査委員会報告書について
総務部長から、報告資料3に基づき、調査内容等について、報告があった。

(報告に対する主な意見)

意見：本件のような事案が生じた場合の対応について、一定の基準を設けるべきである。

4 一連の事案に対する文部科学省への回答に関する対応状況等について

総務部長から、報告資料4に基づき、令和4年4月7日付けで本学が文部科学省へ提出した「学校法人日本大学の前理事長及び元理事に係る一連の事案に対する本法人の今後の対応及び方針について(回答)」に関する対応状況について、12月1日現在の状況の報告があった。

(報告に対する主な質疑応答及び意見)

質問：監事から理事長等に対して提出した要望書等の概要についてお聞きしたい。

回答：公益通報者保護法に基づく要望並びに日本大学事業部に対する管理体制の強化等について要望している。

意見：訴訟に関しては、方針を明確にする必要がある。

5 財政調整積立金委員会からの答申について

財務部長から、報告資料5に基づき、令和5年度予算編成に当たり、本部及び部科校から申請のあった令和5年度財政調整積立金による助成案、令和4年度財政調整積立金による追加助成案及び財政調整積立金からの助成に係る償還方法の変更案に関する財政調整積立金委員会での審議結果について、同委員会からの答申書に基づき報告があった。

6 令和5年度予算案(令和4年12月19日現在)について

財務部長から、報告資料6に基づき、令和5年度予算案の途中経過として、法人総合の予算案の事業活動収支の概要、前年度予算比での主な収支悪化事項・収支好転事項及び計算単位ごとの目標値達成状況について、報告があった。

(報告に対する主な質疑応答及び意見)

質問：構造的に収支状況が厳しい部科校も散見されるため、今後の社会状況等も踏まえて検討していく必要があるのではないか。

回答：収支状況はもちろんであるが、教学上の位置づけ等も含めて検討

の必要があるものと思料する。

質問：繰越収支差額の改善についてお聞きしたい。

回答：必要以上の施設設備への投資を減少させるとともに相互利用を含め、限られた財源をより有効に活用する方法の検討も必要となる。

意見：今後の更なる少子化を見据えた上で部科校の在り方について継続的に検討していく必要がある。

7 保険代理店登録完了について

日本大学キャンパスサポートオフィス特任次長から、株式会社日本大学事業部の解散に伴い、本法人で保険媒介代理業を行うために必要な保険代理店登録が完了したことについて、報告があった。

議 事

1 日本大学芸術学部芸術研究所規程の一部改正に関する件

総務部長から、資料1に基づき、本規程において、研究所次長については、芸術学部芸術研究所技術系研究部門の責任者とするため、研究所規程準則によらず常置するとしていたが、当該部門を廃止するため、本規程を改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

2 奨学金規程(工学部及び生物資源科学部)の一部改正及び廃止に関する件

総務部長から、資料2に基づき、工学部の日本大学工学部奨学金給付規程の改正並びに日本大学工学部父母会校友会奨学金給付規程及び同貸与規程の廃止、生物資源科学部の日本大学生物資源科学部後援会奨学金規程及び日本大学生物資源科学部大森奨学金規程を改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

3 日本大学公印取扱規程の一部改正に関する件

総務部長から、資料3に基づき、株式会社日本大学事業部の解散に伴い、本法人で保険媒介代理業を行う際、顧客等へ提出する諸書類が公式な文書であることを証するために公印を用いるが、業務の特質上、独自の公印による運用ができるよう本規程を改正することについて説明があり、審議の

結果，原案どおり決定した。

4 日本大学教職員就業規則等の一部改正に関する件

総務部長から，資料4に基づき，本学における懲戒処分事案を公表することにより，大学運営の透明性を確保するとともに，教職員の服務に関する自覚を促し，不祥事等の再発防止に資するため，本規則等を改正すること，また，労働者代表への意見聴取が必要となるため，改正日については，意見聴取後の理事会承認日となることについて説明があり，審議の結果，原案どおり決定した。

5 日本大学非常勤講師規程の一部改正に関する件

総務部長から，資料5に基づき，令和4年11月4日開催の理事会において，附属高等学校・中学校の非常勤講師との契約について，当該高等学校・中学校が必要と認める場合は，4回を超えて更新を可能とすることが承認されたことに伴い，本規程を改正すること，また，労働者代表への意見聴取が必要となるため，改正日については，意見聴取後の理事会承認日となることについて説明があり，審議の結果，原案どおり決定した。

6 日本大学附属高等学校・中学校常勤講師給与規程の一部改正に関する件

総務部長から，資料6に基づき，令和4年12月2日開催の理事会において，附属高等学校・中学校常勤講師に支給する給与の増額について承認されたことに伴い，本規程を改正すること，また，労働者代表への意見聴取が必要となるため，改正日については，意見聴取後の理事会承認日となることについて説明があり，審議の結果，原案どおり決定した。

7 準附属校契約の更新に関する件

総務部長から，資料7に基づき，本学と準附属校契約を締結している学校法人11校との契約が令和5年3月31日をもって，3年間の契約期間が満了となることから，引き続き，契約を更新することについて説明があり，審議の結果，原案どおり決定した。

8 令和5年度財政調整積立金による助成に関する件

財務部長から、資料8に基づき、報告・連絡第5号で報告された結果により、本部及び部科校から申請のあった令和5年度財政調整積立金による助成案について説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

(議案に対する主な質疑応答)

質問：積立金の償還についての基準はどのようなものか。

回答：日本大学財政調整積立金規程に助成金の償還の要否について規定されている。

質問：令和4年度は助成金が拠出額を上回っているが、不足分については、前年度からの積立分を充当しているとの理解で良いのか。

回答：そのとおりである。計画的に積み立てをしており、残高を見ながら助成の提案をしているが、年度により拠出額を助成額が上回る場合があることを御理解いただきたい。

9 令和4年度財政調整積立金による追加助成に関する件

財務部長から、資料9に基づき、報告・連絡第5号で報告された結果により、日本大学病院から申請のあった令和4年度財政調整積立金による追加助成案について説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

(議案に対する主な質疑応答)

質問：新型コロナウイルス感染症に関する補助金は受けているのか。

回答：補助金は受けているが板橋病院が主な対象である。

10 財政調整積立金からの助成に係る償還方法の変更に関する件

財務部長から、資料10に基づき、報告・連絡第5号で報告された結果により、歯学部から申請のあった財政調整積立金からの助成に係る償還方法の変更案について説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

11 芸術学部長選任に関する件

人事部次長兼人事部長職務代行から、資料11に基づき、令和5年3月31日をもって芸術学部長辞任に伴い、後任の学部長の選任について説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

12 全学共通仕様パソコン等の購入に関する件(本部)

管財部長から、資料12に基づき、全学共通仕様パソコン等に関し、令和5年度の購入予定について部科校より申請があったため、共同発注により購入することについて説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

(議案に対する主な質疑応答)

質問：部科校により購入数にバラつきがあるが、年度毎に順次入れ替えているためとの理解でよろしいか。また、費用は部科校が負担しているのか。

回答：管財委員会で仕様を定め、それに基づき、毎年度部科校から希望を募っており、費用は部科校負担である。

13 馬用備品の購入に関する件(本部)

管財部長から、資料13に基づき、日本大学馬術部学生寮及び厩舎の新築に伴い、馬を扱うために必要となる馬用備品の購入について説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

14 共焦点レーザースキャン顕微鏡の除却(廃棄)に関する件(薬学部)

管財部長から、資料14に基づき、共焦点レーザースキャン顕微鏡は、購入から21年が経過し、画像取込部分が故障しており、修理不能であるため、除却(廃棄)を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり決定した。

以 上